



特別展「ミニマル/コンセプチュアル」展関連 こどものイベント 「こども鑑賞会」

- 開催日時：2022年5月21日(土)
- 参加者：こども8名、保護者8名
- 対象：小学生～高校生と保護者
- 参加費：無料(保護者の方は観覧料1600円)
- 場所：企画展示室、レクチャールーム

- 概要
ミニマル・アート、コンセプチュアル・アートとは何か学芸員に話を聞いて、それをヒントに鑑賞しました。気になる作品を見つけたり、発見したことを発表したりしました。

- 1 オリエンテーションと河田学芸員によるレクチャー
最初に展覧会担当の河田学芸員がいくつか作品例を挙げながら解説しました。「ミニマル・アート」とは、作家の手仕事の跡を無くし、工業用素材や既製品を使った作品、「コンセプチュアル・アート」は、形になる以前のアイデアやコンセプトを重視した作品のこと。またそれらの美術を紹介したフィッシャー夫妻についてお話ししました。



◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・いろいろなびじゅつひんがあった。
- ・作者のいとが分からないものもあって、おもしろかったです。
- ・いっぱいたのしめてよかったです。

◇保護者の感想

- ・絵・芸術を鑑賞する上で、観るポイントを教えていただけてよかったです。
- ・はじめて美術館に行きました。想像していたよりきちんと観ていて、また来たいと思いました。私も興味深く観ることができました。

■ 2 鑑賞活動

ミュージアムティーチャーからワークシートの説明や鑑賞マナーを聞いて展示室へ出発！どの参加者も「これはなんなんだろう？」と興味を持って見ていて、気になる作品のところへ行き来している子もいました。しゃがみこんで作品を見つめながら、家族で気づいたことを話したり、ワークシートに見つけたことなどたくさん書きこんだりしていました。1点1点じっくりと見ていたため、時間が足りない様子でした。



■ 3 ふりかえり①

展示室での鑑賞後、レクチャールームに戻って見つけたことや気づいたことなどを発表してもらいました。規則性のある作品（写真①）について、「どんな決まりごとがあるかな？」というワークシートの問いかけに、「階段みたい」「数が増えたり少なくなったりしている」など教えてくれました。少し難しい問いかけでしたが、さまざまな意見が出ました。



■ 4 ふりかえり②

「展示室のどこかにちりばめられているので見つけてみよう」（写真②）という問いかけに、「全部でいくつあったかな？」と聞くと、「10個見つけた」という意見がほとんどの中、「11個あった」という子もいました。詳しく聞くと、影の数も含めたと話してくれ、新たな視点を参加者みんなで共有することができました。他にも、「この作品はどうやってかいたのかな？」「何でできているのかな？」の問いかけに、「歩いてかいたと思う」「木、金属、ガラス、鏡、ブラシでできている」など発見したことをたくさん発表してくれました。発表のあと、それぞれの作品について河田学芸員が解説をしました。

□まとめ

ミニマル・アートもコンセプチュアル・アートも少し難しい印象を持たれがちなので、こども達にその魅力をうまく伝えられるかな...という思いもありましたが、そんな心配は無用だったと思えるくらい、みなさん興味を持って積極的に展示室の作品と向き合ってくれていました。これをきっかけに、現代アートの作品をたくさん見て、好きになっていってもらえたら嬉しいです！
(河田学芸員)